

# たが思い

調布市立  
上ノ原小学校  
5年生  
令和8年5月22日



## 学年目標が決定しました！

今年度は4月の2週目から各学級2名に「学年目標実行委員」をお願いし、検討を重ねてきました。学年目標を決めるにあたり「可能な限り134名の子どもたちの願いや思いをもとにしたい」という教師の願いがあったので、各学級で話合いの時間を設け、「今年度を最高の1年間にするために大切にしたい言葉」を検討してもらいました。子どもたちは「今の自分たちの課題」や「目指したい姿」について検討を重ねて、様々な言葉を提案してくれました。

子どもたちが「学年の姿」として、課題だと感じているのは以下のような点でした。

- どうしても話を聞けない
- メリハリをつけられない
- 自分に合わない人を否定してしまう
- 思いやりがない
- 自分勝手

このような課題を解決していくために「大切にしたい言葉（目指す姿）」として、各学級から以下の言葉が出てきました。

- 1組 「マナー」「思いやり」「共生」
- 2組 「思いやり」「信頼」「楽しく」「協力」「挑戦」「メリハリ」
- 3組 「安心できる環境を整える」「相手の立場に立つ」「お互いを理解する」
- 4組 「それぞれの個性を大切にする」「相手を思いやり、大切にする」「他者とのちがいを受け入れる」

ハケ岳移動教室に向けて  
学年集会も開きました！  
みんなで協力して  
準備を進めていきます！

ハケ岳移動教室  
保護者説明会  
ありがとうございました！

どの学級が出してきた言葉も素敵だったので実行委員の子どもたちと一緒に「共通点をもとに、全学級が納得できる言葉」を考えることになりました。

『メリハリ』とか『マナー』が大切なのはわかるけれど、それを注意し合って互いを厳しく非難するのはイヤかな」

「難しいかもしれないけれど『生活』については目標というよりも当たり前のようにしたいよね」

「ほとんどのクラスが『思いやり』は大切にしたいと思っている」

『思いやり』だけではなく『互いを理解する』ことも大切に考えているクラスが多いよね」

このようなやり取りから、全学級が「思いやり」「相互理解」を大切にしたいと考えていることが実行委員の中で共有されました。そして、『思いやり』も『相互理解』もお互いの『ちがいを受け入れる』ことができないと実現しないと思う」という考えから、これを学年で共有する「願い」とすることが決まりました。

そして、「この『願い』をスローガンのように1年間意識していくために、可能な限り短い言葉にしよう」と実行委員とともに再度検討しました。

- 思い理解
- 思理解（おもりかい）
- 互い理解
- ちがい合い
- 理解合い

このようなアイデアが出てきました。どれも良いのですが、少し「しっくりとこない」感じがしていました。その時、実行委員から「ちがいを受け入れるためにも、互いに相手のことを理解する必要があるよね。それこそ思いやりだよ」といった意見が出てきました。そうして決まった学年目標が・・・以下の通りです！

たがい思い  
～ちがいを受け入れる～

実行委員で検討した後、学年集会を開き、全員で学年目標を合意しました。幸い、この学年目標を否定する子はいませんでした。1年間、みんなで「たがい思い」を目指して取り組んでいきます！